

キオクシア特許訴訟が示すAI半導体時代の知財リスク——米国訴訟・無効化手続き・サプライチェーン契約への示唆

Gemini 3.1 pro

1. はじめに：キオクシア訴訟における約2億2,900万ドルの陪審評決

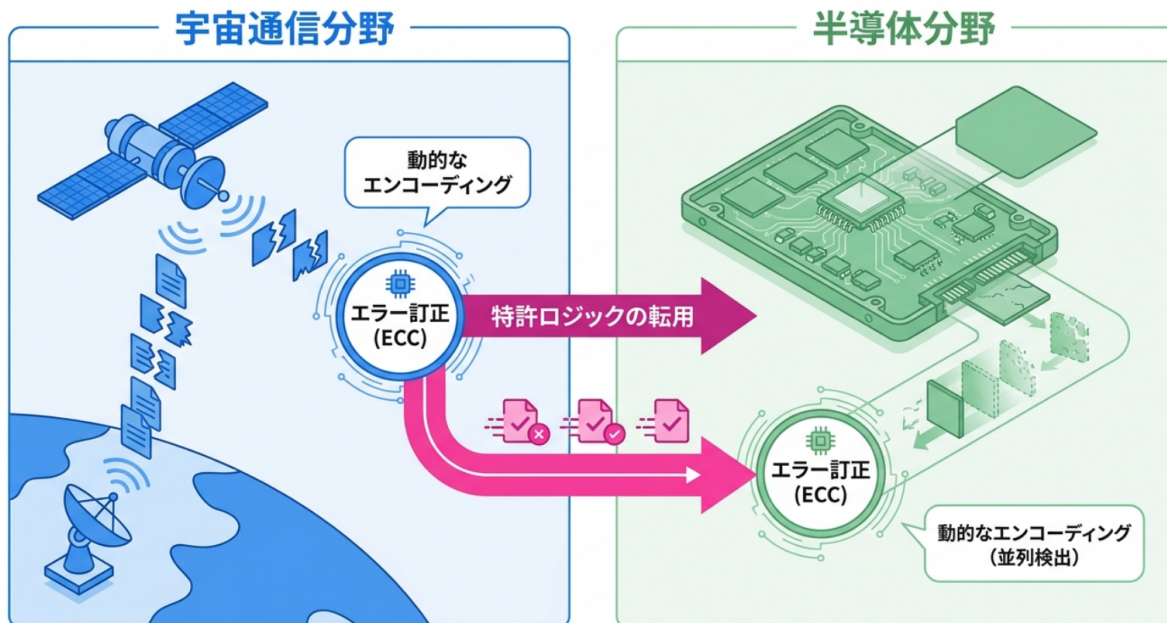
2026年7月16日、米国テキサス州西部地区連邦地方裁判所ウェーコ支部の陪審は、Viasatが保有するフラッシュメモリ関連特許について、キオクシア側による侵害を認定し、損害額を2億2,780万ドル（約2億2,900万ドル、約370億円）とする評決を示した¹。陪審評決は最終判決そのものではなく、今後、裁判所による最終判決、判決後申立て、控訴などによって結論や金額が変更される可能性がある³。

報道によれば、評決額は少なくとも2026年3月30日までの過去の販売を対象とする合理的ロイヤルティーに基づいているとみられる¹。判決後の販売に対する追加損害、継続実施料、判決前・判決後利息などが認められれば負担が増える可能性がある一方、判決後申立て、控訴または和解により減額・変更される可能性もある³。

この評決の翌日、訴訟当事者であるキオクシア株式会社（以下「キオクシア」）の親会社で上場会社であるキオクシアホールディングス株式会社の株価は大幅に下落した²。同社はAIデータセンター向け需要の拡大を背景に業績の急回復が見込まれていた矢先の出来事であった⁵。本件は、NAND型フラッシュメモリの物理構造や製造工程だけでなく、誤り訂正や制御アルゴリズムといった論理レイヤーの特許が、半導体製品の重大な事業リスクとなり得ることを示している。

もっとも、Viasatは衛星通信などの事業を行う事業会社であり、本件をNPE（非実施主体）による訴訟と同一視することは適切ではない⁶。本稿では、AI半導体市場を取り巻くリスク環境を整理するため、①異業種企業による特許権行使、②NPE・PAEによるAIサプライチェーンへの権利行使、③IPRおよび査定系再審査を含む無効化手続き、④契約上の知財補償リスクを区別して分析する。

分野を越境する特許脅威：衛星通信技術から半導体制御への転用



元来は宇宙空間における衛星通信のデータ損失を防ぐために開発されたViasatのエラー訂正技術（ECC）のロジックが、経年劣化を伴うNANDフラッシュメモリーのデータ読み書き制御へと転用・権利主張され、異業種からの特許攻撃が成立した構造。

2. 事件の深層：分野越境型特許と米国特許制度の論点

2.1. 争点となった「'700特許」の技術的背景

本件でViasatが権利を主張した米国特許第8,615,700号（通称「'700特許」）は、「フラッシュメモリー向け並列エラー検出付き前方誤り訂正」に関するものである³。NAND型フラッシュメモリーはデータの読み書きに伴いビットエラー率が上昇するため、誤り訂正符号（ECC）技術が不可欠である。Viasatは、本技術が同社の通信・信号処理分野の研究開発を背景として生まれたと説明している²。本特許の核心は、NANDセルの物理的なハードウェア構造ではなく、コントローラー内でデータを符号化・検査し、メディアの劣化度に合わせて保護強度を動的に変更する制御論理に関する点にある³。陪審は、キオクシアの対象製品（独自のECC技術を搭載したエンタープライズSSDなど）が、本特許の請求項16の各構成要件を満たすとのViasat側の主張を認めたとみられる⁸。ハードウェア企業が予期しない第三者のソフトウェア的・制御アルゴリズム特許に抵触するリスクが存在することが浮き彫りとなった。

2.2. IPRエストッペルの範囲と限界

キオクシアは提訴後、米国特許商標庁 (USPTO) の特許審判部 (PTAB) に当事者系レビュー (IPR) を申し立てた。その結果、広範な独立クレームは無効化されたものの、請求項16など一部の従属クレームはIPRで特許性が否定されなかった²。連邦巡回区控訴裁判所 (CAFC) も、当該IPRにおけるPTABの判断を維持した²。

米国特許法315条(e)(2)による「IPRエストップペル(禁反言)」の規定により、最終書面決定が出た後、キオクシア側は、IPRで提起した、または合理的に提起できた特許・刊行物に基づく無効理由を、地方裁判所で再度主張することが制限されたとみられる⁹。ただし、IPRエストップペルはあらゆる無効理由に及ぶものではなく、実機・公然使用に基づく先行技術、§101(特許適格性)、§112(記載要件等) など、IPRの対象外となる主張が残り得る¹³。したがって、陪審審理で具体的にどの防御が排除され、どの防御が提出されたかは、地裁の証拠排除命令や公判記録に基づいて確認する必要がある。

2.3. 損害賠償算定における按分の課題

本件訴訟が提起されたテキサス州西部地区連邦地方裁判所のウェーコ支部は、特許権者から選好されてきた裁判地の一つである²。陪審が提示した約2億2,900万ドルの評決額が、どのロイヤルティーベース、料率、または1台当たり単価に基づいて算定されたかは、損害専門家の報告書、公判証言および評決書を確認する必要がある⁹。

一般論として、複合製品の一部に関する特許では、特許技術の寄与に応じた按分 (Apportionment) が求められる¹⁵。製品全体の売上をロイヤルティーベースとする場合には、全市場価値原則 (EMVR) の要件や、料率側で十分な按分が行われているかが争点となり得る¹⁵。AIデータセンター向けのエンタープライズ製品は単価が高く販売量も膨大であるため、算定手法次第では巨額の賠償額が導き出される可能性があり、今後の控訴手続き等においても主要な争点になると予想される¹⁴。

3. AI半導体市場に拡大する異業種企業・ライセンス企業・NPEによる特許主張

AIインフラ市場の急成長に伴い、事業会社間の訴訟だけでなく、特許ライセンス企業や非実施主体 (NPE/PAE) による権利行使も増加している。

3.1. NetlistによるHBM/DDR5のITC調査

半導体ライセンス企業であるネットリスト (Netlist) は、サムスン電子等のHBM(広帯域メモリー) やDDR5モジュールに対し、米国国際貿易委員会 (USITC) で第2次337条調査を申し立てた³。対象特許は積層ダイの制御やインターフェース技術に関し、AIサーバーの性能に直結する³。

同社はサムスン電子だけでなく、エヌビディアやブロードコム等の設計企業も被申立人に含めている³。ただし、ITCが調査を開始したことは、侵害や輸入差止めが認定されたことを意味しない³。今後、特許侵害・有効性、米国内産業要件、救済範囲および公共利益が審理される³。もっとも、最終的に排除命令が発令されれば、対象部品を組み込んだ川下製品 (AIサーバー等) の輸入にも影響が及ぶ可能性があるため、被申立企業にとって大きな交渉圧力として利用されている³。

3.2. NPEによるファウンドリへの提訴

半導体受託生産大手のTSMCに対しても、Marlin Semiconductorなどの特許保有会社が先端プロセスに関して特許侵害訴訟を提起している¹⁹。台湾当局者はこれらの企業を「パテント・トロール (NPE)」と表現したと報じられており、製品製造を伴わず和解金等を目的とした権利行使であると指摘

している¹⁹。AI市場を標的として増加するこうした訴訟は、企業にとって継続的な事業リスクとなっている²⁰。

4. 米国特許訴訟における無効化戦略の複雑化(PTABとEPR)

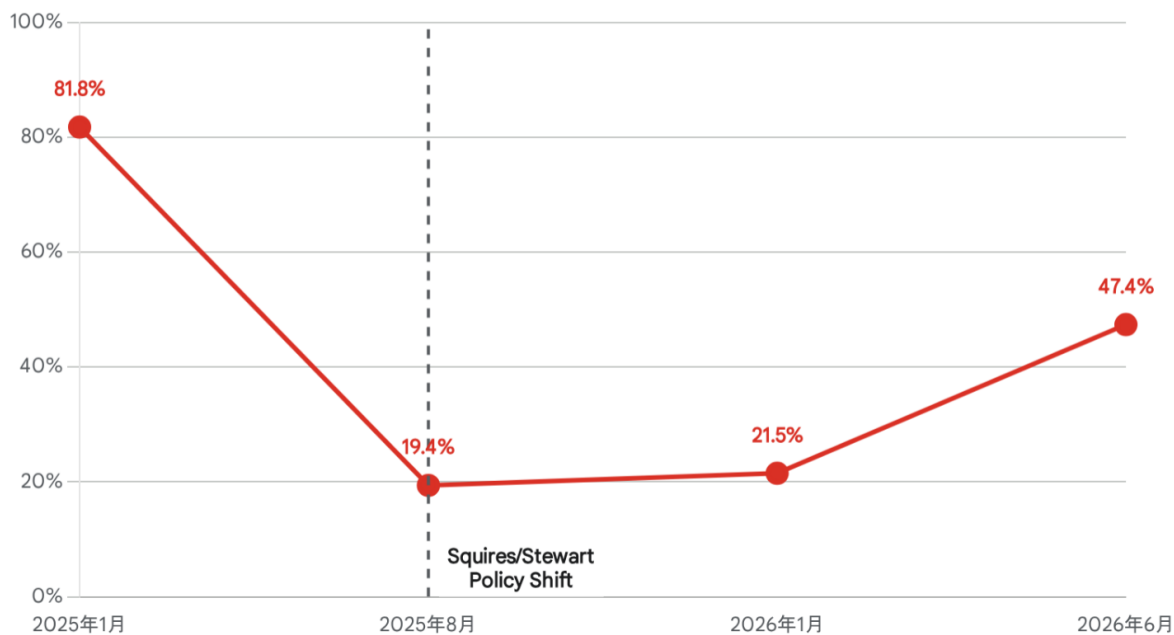
米国特許訴訟において、USPTOの特許審判部(PTAB)におけるIPRの運用方針が変化しており、日本企業は困難な戦略的選択を迫られている。

4.1. 裁量却下とSotera誓約の運用変更

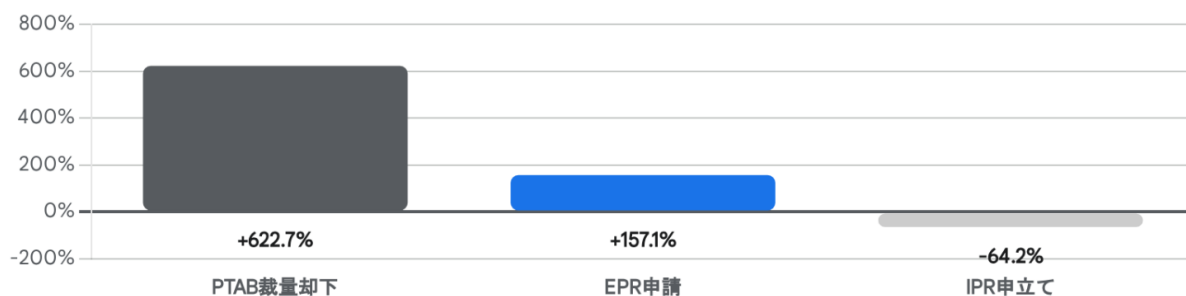
近年、PTABにおけるIPRの開始(Institution)について、並行する地裁訴訟を理由とした長官の裁量却下(Fintivファクター)の運用が厳格化している²²。かつては地裁での無効主張を制限する「Sotera誓約」により裁量却下を回避しやすかったが、近時の運用では、実機やシステムに基づく先行技術の放棄(Sotera-Plus誓約)までも求められるケースがある¹³。これにより、被告はIPRと地裁での防御カードの配分に苦慮している¹³。

米国特許無効化戦略の劇的な地殻変動：IPRの失速とEPRの急増

IPR開始率の推移 (2025年1月～2026年6月)



PTAB手続きの前年同期比 成長率 (2026年第1四半期)



USPTO長官による裁量却下（Discretionary Denial）の厳格化により、NPEに対するIPR開始率は劇的に低下。これを回避するため、エストップ（禁反言）リスクがなく匿名申請が可能な査定系再審査（EPR）へと防御戦略が急速にシフトしている。

Data sources: [Unified Patents \(H1 2026\)](#), [Unified Patents \(Q1 2026\)](#)

4.2. IPRの代替選択肢としての「査定系再審査(EPR)」

IPRのハードル変化を受け、実務上、査定系再審査(EPR)の利用が増加している²³。EPRには長所と短所があり、事件ごとの比較衡量が必要である。

項目	当事者系レビュー (IPR)	査定系再審査 (EPR)
主な開始基準	合理的に見て少なくとも1請求項について申立人が勝つ可能性があること ²⁸	特許性に関する実質的で新たな疑問 (SNQ) ²⁸
裁量却下	Fintiv、§325(d)などが問題となり得る ²⁸	IPR型のFintiv却下は通常問題にならないが、§325(d)などの論点が残る ¹²
第三者の関与	開始後も当事者として参加 ²⁴	開始後の第三者請求人の関与は限定的 ²⁴
法定エスツッペル	あり(最終書面決定後) ¹²	IPRと同様の法定エスツッペルはない ¹²
手続き期間	原則として開始後1年、例外的に延長 ²⁸	明確な同等の完結期限がなく、長期化する可能性がある ²⁴
匿名性	実質的利害関係者の開示が必要 ²⁹	代理主体を通じて真の利害関係者を非公開にできる場合がある ¹²
戦略上の注意	エスツッペルと裁量却下のリスク ¹²	手続きへの関与不足、補正リスク、速度の不確実性 ²⁴

EPRはIPRにおけるFintiv型裁量却下の対象とはならないため、並行訴訟が存在する場合でも、SNQ要件を満たせば再審査が命じられる可能性がある²⁸。また、IPRのような「侵害訴状送達から1年」という期限はないが、特許満了後の利用可能性や実益には一定の制約が存在する²⁹。

5. サプライチェーン全体を巻き込む知財リスクと契約実務

5.1. 「知的財産補償条項(IP Indemnification)」によるリスク波及

最終製品メーカーが訴えられた場合、販売契約の知的財産補償条項(IP Indemnification)の内容によっては、部品サプライヤーが防御費用、和解金または損害賠償の全部もしくは一部を負担する可能性がある³¹。

実務上の典型的な争点として、補償対象が「部品単独の侵害」か「顧客システムとの組み合わせに

による侵害」か、顧客仕様に従った設計であったか、知財補償が一般的な責任上限 (Liability Cap) の適用除外になっていないか等が挙げられる³¹。サプライヤー側は、知財補償専用のサブキャップ (上限) を設定するなどの契約交渉が不可欠となる³¹。

5.2. 共同防御の仕組み (LOT Network等)

NPEによる広範な権利行使から企業を守るため、LOT Networkなどの国際的な知財防衛ネットワークへの参加も進んでいる³³。LOT Networkは、加盟企業由来の特許がPAE等 (市場に再流通した特許を含む) に移転して後に行使されるリスクを軽減する有力な仕組みである³³。ただし、既にNPEが保有する特許や非加盟企業由来の特許、あるいは事業会社自身による権利行使まで広く防ぐものではない点には留意が必要である³⁶。

6. 結論と日本企業への示唆

本件訴訟および近年の米国特許実務の動向を踏まえ、日本のテクノロジー企業が検討すべき今後の知財戦略への示唆を以下に提言する。

- **IPR、EPR、地裁無効論等の多角的な比較**：特許訴訟においてIPRを反射的に選択するのではなく、EPR、地裁での無効主張、設計変更、ライセンス交渉を含む複数の選択肢を、裁量却下やエストッペルリスクを含めて事件ごとに比較考量する必要がある³⁷。
- **FTO (自由実施確保) 調査の対象拡張**：半導体製品のクリアランス調査を物理構造や製造プロセスに限定せず、ソフトウェア、制御プロトコル、信号処理といった論理レイヤーの異業種特許まで対象を拡張する。
- **知財補償条項 (IP Indemnification) の厳格化**：顧客との契約において、IP補償に関する専用の責任上限 (サブキャップ) を設け、他社製品との組み合わせ免責、防御権の確保、和解承認権の要件を明確に設定する。
- **防衛コンソーシアムの合理的活用**：LOT NetworkやOIN等の共同防衛制度について、その対象範囲と防衛の限界を正確に評価した上で、自社のIPポートフォリオ管理に組み込む。
- **ライフサイクル全般でのリスク管理**：訴訟発生後の対応にとどまらず、設計審査、調達、契約、M&Aの各段階において、米国特許訴訟・ライセンス実務の制度的特徴を踏まえた統合的な知財リスク管理体制を構築する。

引用文献

1. キオクシアがストップ安、米陪審が特許侵害で2.29億ドル賠償評決 - BigGo ファイナンス, <https://finance.biggo.jp/news/f36b7979-3c28-4e67-8181-a4750b265cac>
2. Kioxia Shares Hit Daily Limit Down After \$228 Million U.S. Patent Verdict - BigGo Finance, <https://finance.biggo.com/news/891fa44b-e513-4d55-bd6e-fb031a064b55>
3. Kioxia Hit With \$229 Million Verdict as Samsung's HBM Faces Second US ITC Investigation, <https://xenospectrum.com/en/article/>
4. キオクシア株がストップ安、米特許訴訟で約371億円の賠償評決 - BigGo ファイナンス, <https://finance.biggo.jp/news/891fa44b-e513-4d55-bd6e-fb031a064b55>
5. キオクシアの株価が半値に下落 ストップ安、投資家が警戒感, <https://www.47news.jp/14637221.html>
6. Kioxia Ordered to Pay \$227.8 Million in U.S. Flash Memory Patent Infringement

- Case, <https://finance.biggo.com/news/1bd0dca4-36a1-4e6c-9db0-43c7ffb7515a>
7. Viasat vs. Kioxia: NAND Flash Memory Patent Infringement Case in Texas | PatSnap Eureka,
<https://www.patsnap.com/resources/blog/litigation/viasat-vs-kioxia-nand-flash-memory-patent-infringement-case-in-texas-patsnap-eureka/>
 8. <https://xenospectrum.com/kioxia-viasat-229m-verdict-samsung-netlist-itc-hbm-ddr5/>
 9. キオクシア vs Viasat 特許訴訟 370億円陪審評決を弁理士が解説,
<https://www.evorix.jp/blog/kioxia-viasat-patent-lawsuit-benrishi>
 10. KIOXIA CORPORATION v. VIASAT, INC. - U.S. Court of Appeals for the Federal Circuit,
https://www.cafc.uscourts.gov/opinions-orders/24-1384.OPINION.12-19-2025_2621821.pdf
 11. Kioxia v. Viasat: Federal Circuit Affirms Flash Memory FEC Patent Unpatentable - Patsnap,
<https://www.patsnap.com/resources/blog/litigation/kioxia-v-viasat-flash-memory-fec-patent-affirmed-patsnap/>
 12. IPR or EPR? Five Scenarios and a Decision Tree for Post-Grant Patent Challengers in the Life Sciences | Sterne Kessler,
<https://www.sterneessler.com/news-insights/insights/ipr-or-epr-five-scenarios-and-a-decision-tree-for-post-grant-patent-challengers-in-the-life-sciences/>
 13. System Art: Goodbye IPR Estoppel, Hello Fintiv Denials - Patent Challenges,
<https://www.patentchallenges.com/2025/05/system-art-goodbye-ipr-estoppel-hello-fintiv-denials/>
 14. キオクシア特許侵害ニュースについて関連知識とともにまとめてみた | poteto - note,
<https://note.com/poteto000129/n/n2e43aed833d4>
 15. Apportionment in the Semiconductor Age - Finnegan,
<https://www.finnegan.com/a/web/7Zpw8fRtQUB7ADW5mnNZTr/published-ip-litigator-apportionment-in-the-semiconductor-age-jpl-march-april-2021.pdf>
 16. Responding to Fed. Circ.'s Latest Patent Damages Test | McDermott,
<https://www.mcdermottlaw.com/insights/responding-to-fed-circs-latest-patent-damages-test/>
 17. EMVR Update: Power Integrations, Inc. v. Fairchild Semiconductor Int'l Jonathan B. Tropp Day Pitney LLP New,
<https://www.daypitney.com/wp-content/uploads/6e235d38557d43c1a87599d75d1e7fb6.pdf>
 18. [News] Memory Patent War Escalates: Kioxia Hit With \$229M Viasat Verdict; Samsung Faces Netlist ITC Probe - TrendForce,
<https://www.trendforce.com/news/2026/07/17/news-memory-patent-war-escalates-kioxia-hit-with-229m-viasat-verdict-samsung-faces-netlist-itc-probe/>
 19. パテント・トロールがTSMCを狙い撃ち、台湾經濟部「護国神山は反撃済み、特許無効を申し立て」,
<https://finance.biggo.jp/news/jW230J4BRYRHrZOvUvgn>
 20. 人工知能(AI)発「スーパーサイクル」で国内半導体企業が超好況を迎えたが、ドナルド・トランプ米国行政府の特許権保護強化基調でいわゆる「特許怪物」の標的になるという憂慮が大きくなっている。特に、米国内.. - MK,

- <https://www.mk.co.kr/jp/world/11933042>
21. 「大統領を後ろ盾に、とにかく訴訟」...『パテント・トロール』の格好の標的となったK半導体 - MK, <https://www.mk.co.kr/jp/business/11933314>
 22. Patent Dispute Report: First Half 2026, <https://www.unifiedpatents.com/insights/2026/7/9/patent-dispute-report-first-half-2026>
 23. Patent Dispute Report: Q1 2026, <https://www.unifiedpatents.com/insights/2026/4/14/patent-dispute-report-q1-2026>
 24. Decimation: Ex Parte Reexamination Eclipses the IPR - Patently-O, <https://patentlyo.com/patent/2026/05/decimation-ex-parte-reexamination-eclipses-the-ipr.html>
 25. Discretionary Denials at the PTAB: Strategic Insights for Petitioners and Patent Owners in a Shifting Landscape | Thought Leadership | July 2025 | Baker Botts, <https://www.bakerbotts.com/thought-leadership/publications/2025/july/discretionary-denials-at-the-ptab>
 26. First Institutions Under Squires: Trends, Impact of Stipulations, and Practice Pointers, <https://www.morganlewis.com/pubs/2025/12/first-institutions-under-squires-trends-impact-of-stipulations-and-practice-pointers>
 27. IPR2025-01148 Apple EX1052 Page 1, <https://ptacts.uspto.gov/ptacts/public-informations/petitions/1558054/download-documents?artifactId=wQmA86UbG53sxNSxTVAF62oaXyWBs-RcBibf5Ey-3aTSIOKNp5kwXA4>
 28. Patent Invalidity in 2026: IPR vs. Ex Parte Reexam | Harris Beach Murtha, <https://www.harrisbeachmurtha.com/insights/patent-invalidity-in-2026-ipr-vs-ex-parte-reexam/>
 29. Ex parte Reexamination: Strategic Considerations for Patent Challengers in Light of Recent PTAB Policy Changes | Crowell & Moring LLP, <https://www.crowell.com/en/insights/client-alerts/ex-parte-reexamination-strategic-considerations-for-patent-challengers-in-light-of-recent-ptab-policy-changes>
 30. Overlooked, But Powerful: Ex Parte Reexamination and Inter Partes Review Combination, <https://www.foley.com/p/102mef7/overlooked-but-powerful-ex-parte-reexamination-and-inter-partes-review-combinat/>
 31. Practical Guidance for Drafting and Reviewing IP Indemnification Clauses | Insights, <https://www.venable.com/insights/publications/ip-quick-bytes/practical-guidance-for-drafting-and-reviewing-ip>
 32. IP Indemnification Provisions Implicating Multiple Suppliers - Mayer Brown, https://www.mayerbrown.com/-/media/files/news/2016/08/ground-satellite-litigation-ip-indemnification-pro/files/f_bloch-acc_docket_september_2016/fileattachment/f_bloch-acc_docket_september_2016.pdf
 33. LOT Network aims to snag group of semiconductor firms, https://lotnet.com/page/8/?afdt=LWQLYhoSBogKEwjywn6lv_qaAhUVtrIKHYs8qxo

[QAhgDIAAw5NrECVDk2sQJUKDKiw9Qyt75EFCHm5oRUOmgryk&search](#)

34. Yokogawa Joins LOT Network to Promote and Safeguard Open Innovation,
<https://www.yokogawa.com/in/news/press-releases/2020/2020-12-10/>
35. Press Releases - LOT Network, <https://lotnet.com/press-releases/>
36. Community Initiatives - Open Invention Network,
<https://openinventionnetwork.com/community-initiatives/>
37. Ex Parte Reexamination (EPR) | Finnegan | Leading IP+ Law Firm,
<https://www.finnegan.com/en/work/practices/patent-invalidations-proceedings/ex-parte-reexaminations.html>